

# Combi

コンビ

## F2用トラベルシステムキット 取扱説明書

品質保証書付

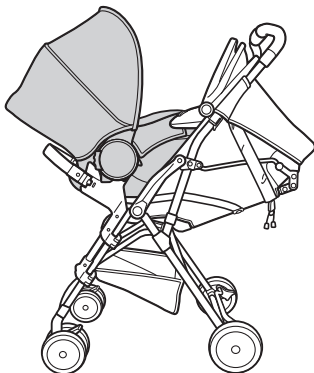
汎用型 質量グループ0

体 重 : ~10kg未満の乳児用

対象機種 : F2 (AB、ADシリーズ除く)

本製品をベビーカーに取り付けた状態では、「コンビ コンパクトレインカバー晴れるといいな」が装着可能です。

- お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書とご使用のベビーカーの取扱説明書をよく読み、十分ご理解の上、記載された内容に従い正しくお使いください。
- ベビーシートは、正しく取り付けないと、本来の機能を果たさず危険です。しっかりと座席に固定してください。
- 45ページ「品質保証書」に次の項目をご記入ください。
  - ① 製品名とロットNo. (本体背面に貼ってあるシールに記載されています)
  - ② お客様のお名前・ご住所・電話番号
  - ③ 販売店名45ページ「品質保証書」上部のレシート貼り付け欄に領収書(レシート)をお貼りください。
- 本書は、シートクッション後側のポケットに保管してください。(P6参照)
- 本製品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。



**危険**

本製品は後向き専用です。

# お使いいただく前に

お使いいただく前に

このたびは、コンビ F2用トラベルシステムキットをお買い上げいただき、ありがとうございます。  
お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書をよく読み、十分ご理解の上、記載された内容に従い正しくお使いください。

## ●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

| 表示                                                                                                | 表示の内容                                           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
|  <b>危険</b>       | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。 |
|  <b>警告</b>       | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。          |
|  <b>注意</b>      | 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性があります。         |
|  <b>ワンポイント</b> | 本製品をご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。   |

## お使いいただけるお子さまの条件

次の条件をすべて満たすお子さまにお使いいただけます。

### ●体重：～10kg未満のお子さま。

(参考年齢…新生児～1才頃)

※新生児とは、体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上

### ●身長：76cm以下で、ベビーシートに乘せ、**頭頂部が本体から上に出ない**お子さま。

## 低月齢期間のご注意

### ●長時間使用の禁止

長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。1時間程度を目安に休憩をとるなどしてください。また、お子さまの体調に変化が見られた場合は、すぐに休憩をとるようにしてください。

### ●保護者の同乗(ベビーシートとして使用時)

できるだけ運転者以外に同乗者が乗り、お子さまから目を離さないでください。やむを得ず運転者以外に同乗者がいない場合は安全運転に留意し、休憩時などにお子さまの様子をご確認ください。

# もくじ

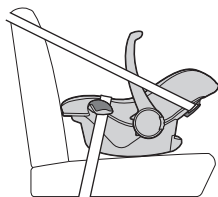
|                           |    |
|---------------------------|----|
| ■お使いいただく前に.....           | 1  |
| お使いいただけるお子さまの条件.....      | 1  |
| 本製品の使いかた.....             | 3  |
| 各部のなまえ.....               | 5  |
| エッグショックパッドの取り付けかた.....    | 7  |
| 幌の使いかた.....               | 11 |
| ダッコシートのはずしかた.....         | 11 |
| ■お子さまにあわせた各部の調節.....      | 12 |
| お子さまの座らせかた.....           | 13 |
| 肩ベルト通し穴位置の選びかた.....       | 14 |
| 肩ベルトの長さ調節.....            | 15 |
| ハンドルの使いかた.....            | 16 |
| 各部の調節の完了チェック.....         | 16 |
| ■ベビーシートとして使う.....         | 17 |
| 取り付けできない座席.....           | 17 |
| 安全にお使いいただくために.....        | 19 |
| 車への取り付けかた.....            | 24 |
| 取付可能な車両シートベルトと取付上の注意点..   | 25 |
| 取り付けの準備(～10kg未満のお子さまに) .. | 25 |
| 座席への取り付けかた.....           | 27 |
| 取り付け時の完了チェック.....         | 29 |
| こんなときには.....              | 30 |
| ■ベビーキャリーとして使う.....        | 31 |
| 持ちかた.....                 | 32 |
| ■ロッキングチェアとして使う.....       | 33 |
| お使いいただけるお子さまの条件.....      | 33 |
| ロッキングの使いかた.....           | 34 |
| チェアの使いかた.....             | 34 |
| ■ベビーカーとして使う.....          | 35 |
| ベビーカーへの取り付けかた.....        | 36 |
| ハンドルと幌の使いかた.....          | 39 |
| ベビーシートのはずしかた.....         | 40 |
| アタッチメントのはずしかた.....        | 41 |
| ■お手入れのしかた.....            | 42 |
| ■品質保証書.....               | 45 |

# 本製品の使いかた

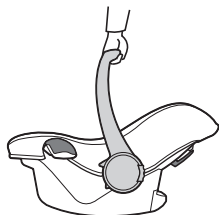
お使いいただく前に

本製品と専用ベビーカーの組み合わせにより、4つの使いかたができます。

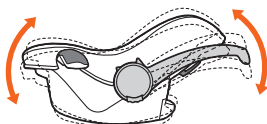
車の中では…  
ベビーシート  
として  
P17～30



おでかけのときには…  
ベビーキャリー  
として  
P31～32

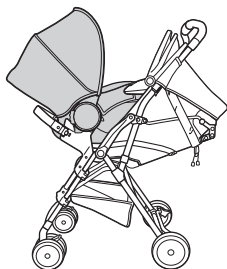


お部屋の中では…  
ロッキングチェア  
として  
P33～34



ベビーカーとセットでお買い上げの皆さまに

おでかけのときには…  
ベビーカーとして  
P35～41



条件：身長76cm以下、頭頂部が本体から出ないこと。

お使いいただく前に

## 体重 参考年齢

新生児 10kg未満  
※体重2.5kg以上在胎週数37週以上 (12ヵ月頃)

新生児 10kg未満  
(12ヵ月頃)

新生児 チェア 10kg  
(12ヵ月頃)

ロッキング チェア 首が  
すわってから 9kg  
(10ヵ月頃)

首がすわるまではロッキングさせず  
チェアとしてお使いください。

新生児 10kg未満  
(12ヵ月頃)

# 各部のなまえ

お使いいただく前に

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

## ベビーシート本体

### 正面

●肩ベルトカバー

●股当てパッド

●角度計  
(車への取り付け用)

●調節レバー

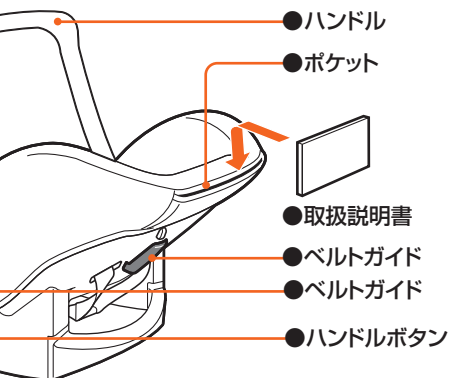
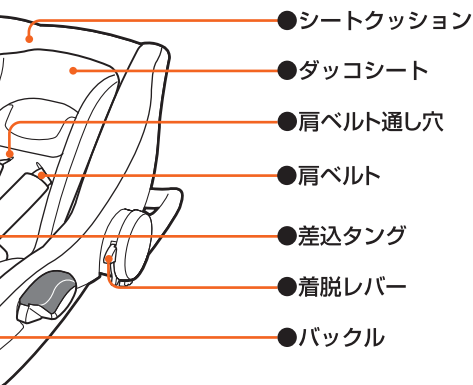
●調節ベルト

### 裏面・側面

●幌

●アタッチメント

●エッグショックパッド



着脱レバーは、ベビーカーへの着脱時に使用する部品で、ベビーカーに取り付けるとレバーが自動的に下がります。無理に押すと破損するおそれがあります。

# エッグショックパッドの取り付けかた

お使いいただく前に

取り付ける場所は、お子さまの体重によって次のように変わります。

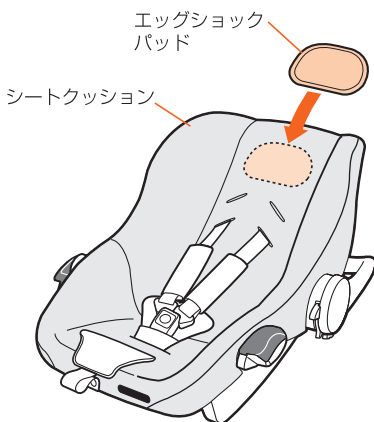
## 体重6kg未満の場合

- ダッコシートに取り付けます。



## 体重6kg以上～10kg未満の場合

- シートクッションに取り付けます。





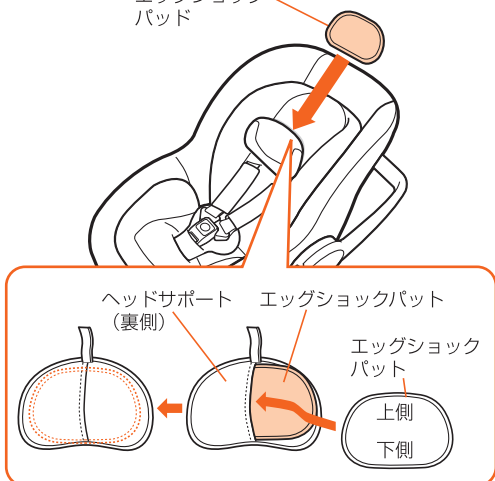
## 体重6kg未満のお子さまの場合

お使いいただく前に

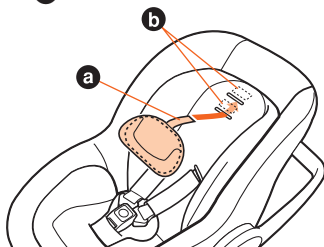
### ●ダッコシートの取り付けかた

- 1** ダッコシートのヘッドサポートに、エッグショックパッドを取り付けます。

エッグショック  
パッド



- 2** ヘッドサポートベルトの面ファスナー **a** を、お子さまの頭部位置にあわせてヘッドサポート通し穴 (上下2ヶ所) に通し、ダッコシート裏側の面ファスナー **b** (上下2ヶ所) に取り付ける。



警告

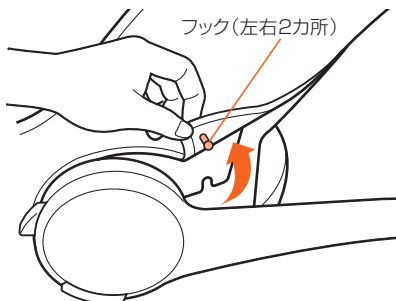
お子さまの体重にあわせてダッコシートまたはシートクッションに、必ずエッグショックパッドを取り付けてください。

# エッグショックパッドの取り付けかた

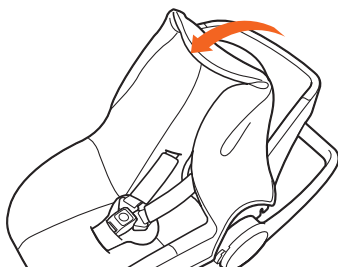
体重6kg以上～10kg未満のお子さまの場合

## ●シートクッションへの取り付けかた

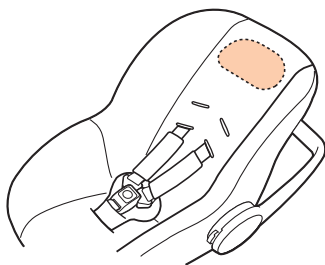
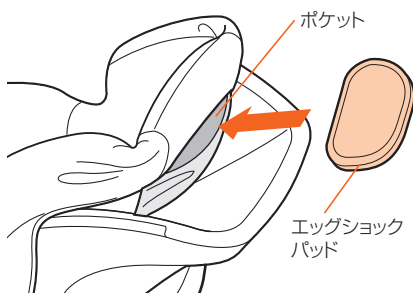
- 1 ダッコシートを取りはずしたあと(11ページ「ダッコシートのはずしかた」参照)、側面のフック(左右2カ所)をはずします。



- 2 シートクッションの上部を本体からはずします。



- 3** シートクッション裏側のポケットに、エッグショックパッドを取り付けます。  
取り付けたあと、シートクッション上部を本体にかぶせ、フック（左右2カ所）を本体に取り付けます。

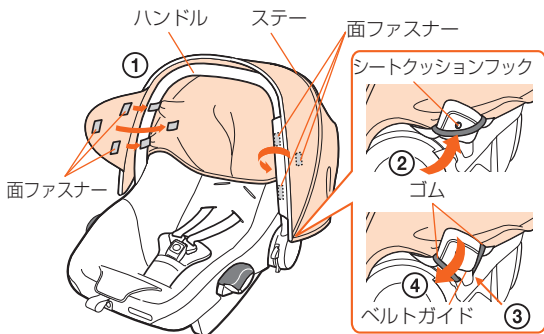


# 幌の使いかた

お使いいただく前に

幌は、お子さまを強い日差しから守ります。

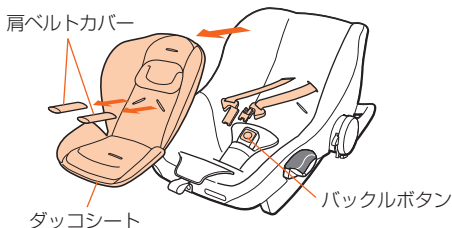
- ① ハンドルを立てた状態で幌の面ファスナーをハンドルにかぶせるようにしてとめ、ステアーを外側に出しベビーシートの上端の縁にあわせてかぶせます。
- ② 左右のシートクッションフックをはずします。
- ③ 幌の左右のゴムをベルトガイドにかけます。
- ④ 手順②で、はずしたシートクッションフックをかけ直し、ゴムがはずれないようにします。



# ダッコシートのはずしかた

ダッコシートは、低月齢のお子さまが、ベビーシートの中で正しい姿勢を保持するためのものです。お子さまの体重が6kgを超えたら、ダッコシートをはずして使用してください。

バックルボタンを押して差込タングをはずし、肩ベルトから肩ベルトカバーを引き抜き、バックルとベルトからダッコシートを引き抜きます。



# お子さまにあわせた各部の調節

お子さまを乗せ、使用する肩ベルト通し穴の位置をお子さまの体にあわせてください。



正しい肩ベルト通し穴へセットしてください。

差込タングをバックルに差し込んでください。

股ベルトがお子さまの両足に通っている。

調節ベルトを引き肩ベルトのたるみをとってください。  
(お子さまと肩ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度の長さに調節してください。)

●お子さまをベビーシートに深く座らせてください。



お子さまにあわせた各部の調節

●おくるみなど、両足が分かれぬ衣類の着用はおやめください。



●お子さまをタオルなどでくるんだまま、座らせないでください。

●かさばったベビーウェアを着せたまま、座らせないでください。

●お子さまを座らせるときには、下図のような座らせかたをしないでください。ベビーシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。



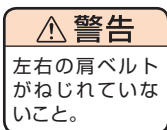
警告

# お子さまの座らせかた

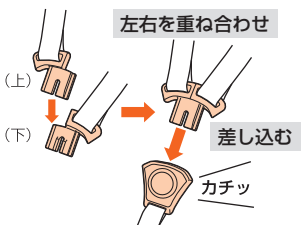
- 1 バックルボタンを押して差込タングを抜き、肩ベルトをゆるめます。(15ページ参照)



- 2 お子さまを深く座らせて、左右の肩ベルトをねじれのないように肩からかけます。



- 3 左右の差込タングを重ね合わせてから『カチッ』と音がするまで、差込タングをバックルに差し込みます。



ワンポイント



バックルのボタンは、お子さまの力でははずれないように固くしてあります。



左右の差込タングが、確実にバックルに差し込まれていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。

- 4 調節ベルトを手前に引き、左右の肩ベルトがお子さまの体にフィットするように調節します。(15ページ参照)

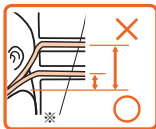
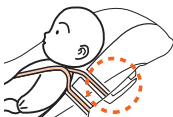
# 肩ベルト通し穴位置の選びかた

## 肩ベルト通し穴の高さの選びかた

肩ベルトは、お子さまの肩の1番近い下の位置に通してください。

※お子さまの肩より上の位置になる場合は1番近い位置に通してください。

(工場出荷時、肩ベルトは1番下の肩ベルト通し穴に設定されています)



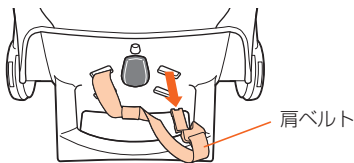
警告

- 肩ベルト通し穴の位置がお子さまの体にあっていないと、衝撃が加わったときに肩ベルトが肩からはずれ、お子さまを正しく保持できません。
- 肩ベルト通し穴は左右同じ高さの穴を使用してください。

お子さまにあわせた各部の調節

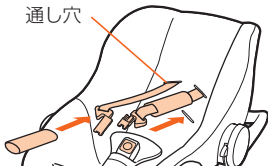
**1** バックルボタンを押して差込タングをはずし、肩ベルトから肩ベルトカバーを引き抜きます。

**2** 本体裏側から肩ベルトを引き抜きます。



**3** 肩ベルトを、お子さまの体にあった肩ベルト通し穴に通し、肩ベルトがねじれないように注意しながら肩ベルトカバーに通します。

肩ベルト通し穴



**4** お子さまを座らせ、差込タングをバックルに差し込み、肩ベルトの位置を確認します。

# 肩ベルトの長さ調節

お子さまを座らせて、肩ベルトがフィットするように長さを調節します。左右の肩ベルトの長さが同じになるように調節してください。

※股ベルトは調節できません。



- 必ず肩ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。
- 肩ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻き付き窒息するおそれがあります。

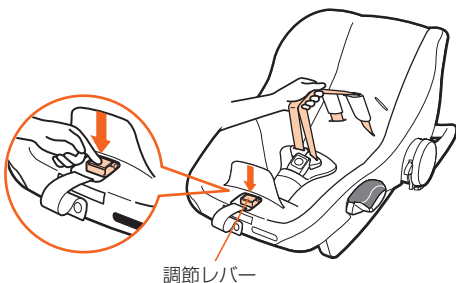
## ●肩ベルトを短くするには

…調節ベルトを引きます。



## ●肩ベルトを長くするには

…カバーの下の調節レバーの奥を押し込みながら、肩ベルトを**左右同時**に手前に引きます。



ワンポイント

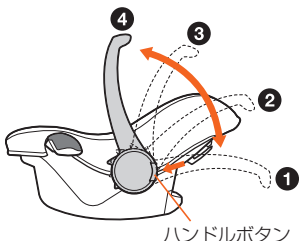


お子さまが窮屈でないように、また肩ベルトがたるんだり、ゆるまないように調節してください。



# ハンドルの使いかた

ハンドル両脇の2つのハンドルボタンを同時に押しながら、ハンドルを前後に回転させる。ハンドルの位置は4段階で調節できます。



ワンポイント



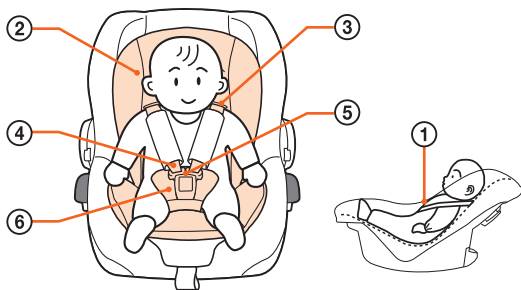
- ハンドルが正しい位置になると、押し込まれたボタンが元の位置に戻ります。
- ハンドルに誤って大きな力加わることによる破損を防ぐため、ハンドル位置②から③へはロックされない構造になっています。



ハンドルの位置を変えるときは、お子さまの指をはさまないようご注意ください。

お子さまにあわせた各部の調節

## 各部の調節の完了チェック



- ① お子さまがベビーシートに深く座っていること。
- ② ダッコシートが正しく使われていること。  
(体重：～6kg未満)
- ③ 正しい肩ベルト通し穴にセットされていること。
- ④ 肩ベルトにねじれやたるみのないこと。(お子さまと肩ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度の長さの調節してください)
- ⑤ 差込タングを重ね合わせてから『カチッ』と音がするまで、差込タングがバックルに差し込まれていること。
- ⑥ 股ベルトがお子さまの両足の間に通っていること。

# ベビーシートとして使う

ベビーシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、ベビーシートを使用するときには、必ず保護者のかたが同乗してください。

## 取り付けできない座席

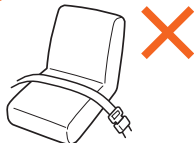
次の条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

下記以外の座席でも、ベビーシートをしっかりと固定できない場合には使用しないでください。

- 車両シートベルトの付いていない座席。



- 2点式シートベルトの座席。



- 車両シートベルトの長さが極端に短い座席。



- エアバッグ装備の座席。  
… サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



- ベビーシートのベルトガイドの位置よりも、前方向から車両シートベルトが出ている座席。

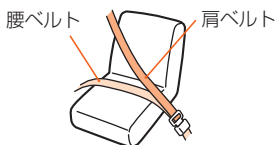


- 進行方向に対して横向き、または後向きの座席。



## ベビーシートが取り付けられるのは、3点式シートベルトの車です。

■3点式シートベルトとは…図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支える車両シートベルトのこと。



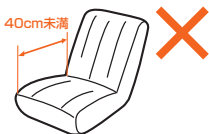
●極端なバケットシート。  
…座面の中央が極端にへこんでいる座席。



●座面の凸凹が極端で不安定になる座席。



●座面の奥行きが40cm未満の座席。



●パッシブシートベルトの座席。  
(オートマチックシートベルト)

…車の座席に座ってドアを閉めると、自動的に車両シートベルトを装着してくれる装置のこと。とくに輸入車に多くみられます。

●車両シートベルトの取り付け幅が32cm未満の場合。



ベビーシートとして使う

ベビーシートは、前座席・後座席ともに取り付けられますが、より安全な後座席への取り付けをおすすめします。また、前座席に取り付ける場合には、安全性を高めるため、車のシートを後ろにスライドさせての使用をおすすめします。

●エアバッグのついている前座席には、絶対に取り付けしないでください。

# 安全にお使いいただくために

## ⚠ 危険

次のような使いかたは、ベビーシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

- 使用条件を満たさないお子さまや、取り付けできない座席などでは、使用しないでください。



- 安全のため、必ず後向きに取り付けてください。前向きでは絶対に使用しないでください。



- 車に取り付けるときは、車両シートベルトを取扱説明書および本体表示に従って正しく通して取り付けてください。誤った部分を通して取り付けしないでください。



- 車に取り付けるときは、必ず車両シートベルトで固定してください。ひもなど、車両シートベルト以外のもので固定しないでください。

- エアバッグが装着された座席では、ベビーシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

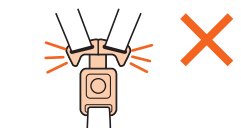


…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

- 車両シートベルトおよび座席の種類などにより、取扱説明書どおりにベビーシートをしっかりと固定できないときは、他の座席に取り付けてください。



- 差込タングを重ね合わせてから『カチッ』と音がするまで、差込タングをバックルに差し込んでください。



## ⚠ 警告

次のような使いかたは、ベビーシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

- お子さまを車内に1人で放置しないでください。

日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。

また予期せぬ事故の元となります。必ず保護者のかたが同乗してください。



- 肩ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。

…正しい長さに調節してください。(15ページ参照)



- 調節ベルトは調節ベルト取り出し口内に収納してください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。

- 6kg未満の小さなお子さまを座らせる場合には、必ずダッコシートを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。

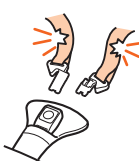
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。



- バックルにゴミ・飲食物などが詰まって確実に差し込めない場合、または解除しにくい場合はご使用を控え、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



- 肩ベルトに傷が付いたときは、ご使用を控え、当社コンシューマープラザへお問い合わせください。



ベビーシートとして使う

# 安全にお使いいただくために

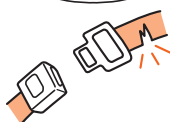
## ⚠ 警告

次のような使いかたは、ベビーシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

- お子さまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。差込タングがバックルからはずれていないことを確認してください。はずれていると本来の機能を果たさず、さらにベルトが首に巻き付くおそれもあります。



- 車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。



- 車の前座席に、ベビーシートを取り付け、助手席側のドアミラーが見えにくいときは、後座席に取り付けてください。

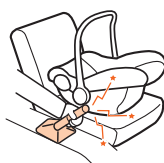


次のような使いかたは、同乗しているかたに危険をまねくおそれがあります。

- お子さまをベビーシートに乗せていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど車内に転がり運転のさまたげになることがあります。



- シフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けしないでください。



- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、ベビーシートを助手席に取り付けしないでください。緊急時の脱出のさまたげになります。



## ⚠ 注意

- 直接日光が当たると、本体や差込タングなどが熱くなり、お子さまがヤケドをするおそれがあります。夏などの日差しが強い日は、日陰に駐車するか、ベビーシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを乗せる前に各部に触り、熱くないことを確認してから使用してください。

- 走行中は、ベビーシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがベビーシートに触らないようにしてください。

- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。



- 出荷時に取り付けられている部品、および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ベビーシートを風雨にさらさないでください。

- 車の座席にクッションや座布団などを敷いたまま、ベビーシートを取り付けしないでください。ベビーシートがしっかり固定されません。



- 固定されていないものを車内に置く場合は急ブレーキや衝突時にお子さまなどに当たるおそれがありますので、十分注意してください。



- シートクッションなどの縫製品をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り換えたりしないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)



- ベビーシートを車のシート可動部やドアなどにはさまないように、十分注意してください。



- 車への乗せ降ろしの際には、ボンネットの上など、不安定で高い場所には置かないでください。

- 座席の表皮素材(革など)および形状によっては、取り付けた座席に傷や跡がつくおそれがあります。別売りの「コンビズレ防止・保護シート」の使用をおすすめいたします。

- 爪を伸ばしていたり付け爪をしていると、拘束や調節操作をする際、巻き込まれてケガをするおそれがあります。十分注意してください。

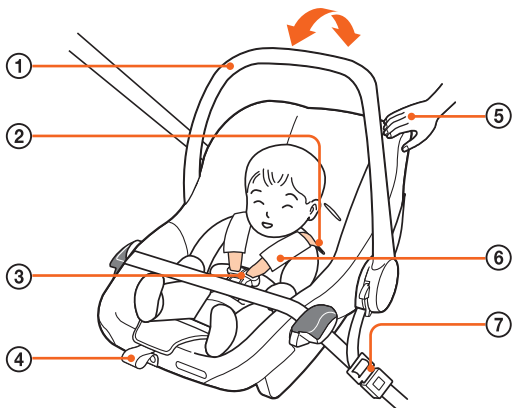


ベビーシートとして使う

# 安全にお使いいただくために

## ⚠ 日常の点検

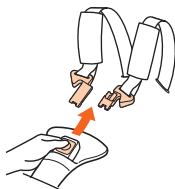
ベビーシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。



- ① ハンドルがたった状態であること
- ② 肩ベルトが正しい穴位置に通されていること
- ③ 差込タングを重ね合わせてから『カチッ』と音がするまで、差込タングがバックルに差し込まれていること
- ④ 肩ベルトがお子さまの体にフィットしていること（調節ベルトを引いてフィットさせてください）
- ⑤ ベビーシートが車両座席にしっかりと固定されていること
- ⑥ 肩ベルトにねじれやたるみがないこと
- ⑦ 車両シートベルトの差込金具がしっかりと車両バックルに差し込まれていること

## ⚠ 緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者のかたがバックルボタン（赤色）を押し、肩ベルトをはずして、すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。





# 車への取り付けかた

ここでは、シートベルトの種類、取り付け上のご注意、および取り付けかたを説明しています。

※車の座席の形状などにより、取り付けできない場合があります。詳しくは 17～18 ページを参照してください。

## 危険

- 3点式シートベルトの座席に取り付けてください。2点式シートベルトの座席には、使用しないでください。
- ベビーシートがしっかりと取り付けできない場合は、本来の機能を果たさず危険ですので、他の座席に取り付けてください。
- 車に取り付けるときは、ひもなど、車両シートベルト以外のもので固定しないでください。
- **エアバッグが装着された座席では、ベビーシートを絶対に使用しないでください。**衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。  
※サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

## 警告

- 車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。
- お子さまがベビーシートに座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。
- エアバッグ装備のない助手席にベビーシートを取り付け、後向きで使用する場合、ドアミラーが見えにくい場合は後座席に取り付けてください。
- シフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けしないでください。
- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、ベビーシートを助手席に取り付けしないでください。緊急時の脱出のさまたげになります。

ベビーシートとして使う

# 取付可能な車両シートベルトと取付上の注意点



必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

本装置はUN/ECE規則No.16または他の同等の基準に基づいて認可された3点式安全ベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。

\*日本国内で登録されている自動車はほぼ適合しております。車種適合につきましては下記サイトにてご確認ください。

パソコンから <http://www.combibaby.com>

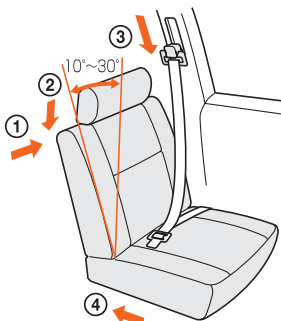
携帯電話から <http://www.combibaby.com/i/>

| シートベルトの種類<br>(シートベルトの方式)          | 特 徴<br>(見分けかた)                                            | 取り付け上の<br>注意点                                                |
|-----------------------------------|-----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| <b>ELR</b><br>緊急ロック式<br>巻取装置付き    | ゆっくりと引くとベルトが自由に伸び縮みし、勢いよく引くとロックする。                        | ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。                                  |
| <b>AELR</b><br>チャイルドシート<br>固定機能付き | ベルトをすべて引き出した後で巻き戻すと自動的に締まり、それ以上伸びなくなる。(ベルトをすべて巻き戻すと解除される) | シートベルトをすべて引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、チャイルドシート固定機能は解除して取り付けてください。 |
| <b>NR</b><br>マニュアル方式              | 巻き取り装置の付いていないシートベルト。                                      | ベビーシートにあわせてシートベルトの長さを調節して取り付けてください。                          |
| <b>NLR</b><br>非ロック式<br>巻取装置付き     | ロック機能のない巻き取り装置付きシートベルト。                                   |                                                              |
| <b>ALR</b><br>自動ロック式<br>巻取装置付き    | ベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出せなくなる。                        | 使用できません。                                                     |

ベビーシートとして使う

## 取り付けの準備(～10kg未満のお子さまに)

### 車側の準備



- ① 背もたれを、10°～30°の角度にしてください。
- ② 高さ調節のできるヘッドレストは、1番下まで下げてください。
- ③ 引き出し位置を調節できるシートベルトは、1番低い位置にしてください。
- ④ 前座席に取り付ける場合は、座席を1番後ろまで下げてください。

ベビーシートは、車両シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり、取り付けられない場合があります。

## 携帯電話QRコード

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

コンビ 適合

検索

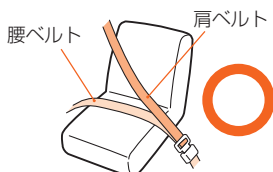


### 取り付けの可否



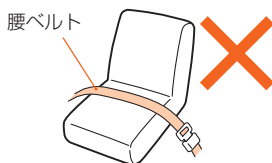
## 3点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。



## 2点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右2点で体を支えるシートベルトのこと。



(2点式シートベルトには取り付けられません)

ベビーシートとして使う

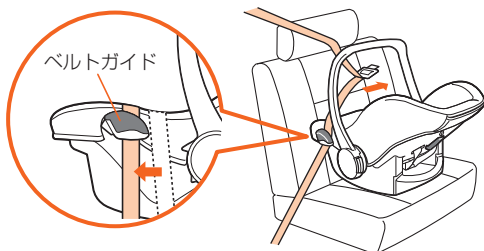
## ベビーシートの準備



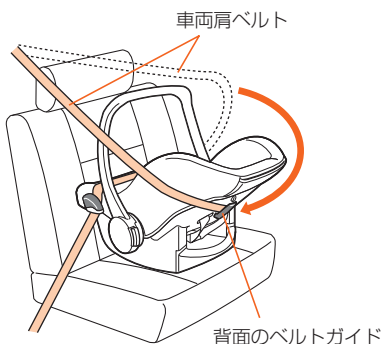
- ベビーシートの**ハンドルを立てた状態**にしてください。
- このベビーシートは、**必ず後向き**に取り付けます。絶対に**前向き**では**使用しない**でください。
- 車の取り付ける座席に、ベビーシートの**底面**を**しっかりつけて、置いて**ください。

# 座席への取り付けかた

- 1 車両シートベルトをねじらないようにゆっくり引き出し、**車両腰ベルト**を、ベビーシート**両サイドのベルトガイド**にはさみ込みます。



- 2 **車両肩ベルト**を、ベビーシート**背面のベルトガイド**にはさみ込みます。

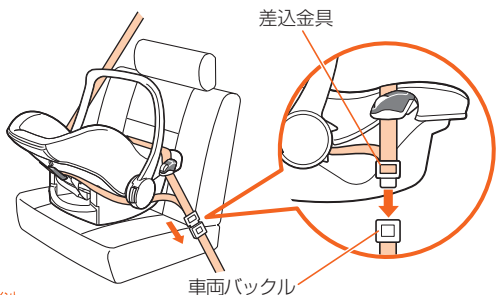


車両肩ベルトが、ベルトガイドのフックより下にしっかりとはさみ込まれていることを確認してください。



フック  
ベルトガイド

### 3 車両シートベルトの差込金具を車両バックルに『カチッ』と音がするまで差し込みます。

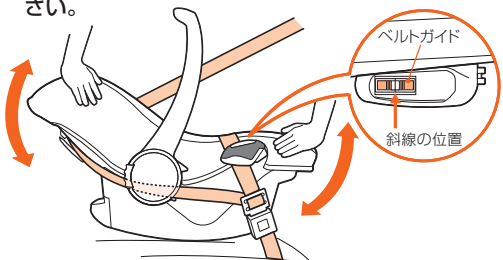


ワンポイント



車両シートベルトの短い座席ではベビーシートを押し込みながら車両バックルを差し込んでください。

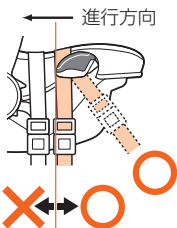
### 4 車両肩ベルト、車両腰ベルトのたるみをなくしながら引っ張り、ベルトガイドに取り付けられている角度計が斜線の位置になるように調節してください。



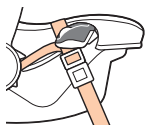
ベビーシートとして使う



警告



図のように車両シートベルトの取付位置が左右のベルトガイドより進行方向前側の場合、別の座席に取り付けてください。

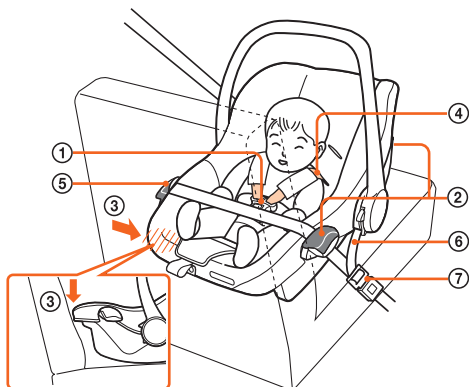


車両バックルがベルトガイドに当たり、しっかり取り付けできない場合、別の座席に取り付けてください。

# 座席への取り付けかた

## 取り付け時の完了チェック

取り付けが終わったら、ベビーシートがしっかり取り付けられているか、次のことを確認してください。



- ① 差込タングを重ね合わせてから『カチッ』と音がするまで、差込タングがバックルに差し込まれていること。
- ② 車両シートベルトが、青色の3つのベルトガイドに正しくはさみ込まれていること。
- ③ 車の背もたれとベビーシートの先端の接している部分に、すきまがないこと。
- ④ 肩ベルトの調節が正しくされていること。  
(15ページを参照)
- ⑤ 角度計が斜線の表示を指していること。
- ⑥ お子さまを座らせた状態で、車両シートベルトにゆるみのないこと。
- ⑦ 車両シートベルトの差込金具が、しっかり車両バックルに差し込まれていること。

### ベビーキャリアと兼用でご使用の場合

お子さまを乗せたままでも、車への取り付け、取りはずしが可能です。



警告

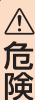
これらの項目を確認し、しっかりと取り付けできない場合は再調節してください。それでもしっかり取り付けできない場合は、他の座席に取り付けてください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

# こんなときには

## ベビーシートを、より確実に固定する方法

### ●後座席に取り付けた場合

車の前座席を後ろにスライドさせ、ベビーシートの背面に接するようにしてください。ただし、接することができない場合は、できるだけ前座席を後ろにスライドさせてください。



危険

エアバッグが装着された座席では、ベビーシートを絶対に使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

※サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

ベビーシートとして使う

# ベビーキャリーとして使う

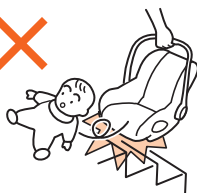
お子さまの座らせかた、肩ベルト通し穴の選びかた、肩ベルトの長さの調節のしかたは、13～15ページを参照してください。

## ⚠ 警告

- お子さまを座らせるときは、必ず肩ベルトを装着し、**差込タングとバックルを固定**してください。



- **ハンドルを肩にかけて持ち運ばない**でください。お子さまを転落させたり、運んでいるかたが転倒して、ケガの原因となります。



- 階段、段差、坂道など、段差のある場所で**ぶつけないように十分注意**してください。お子さまを転落させたり、運んでいるかたが転倒して、ケガの原因となります。



- ベビーシートを、テーブルやいすの上など、落下する危険性がある場所に置かないでください。転倒してケガの原因となります。



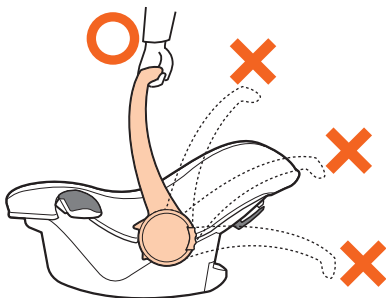
- 図のような持ちかたをしないでください。ハンドル位置が変わり、お子さまが落下するおそれがあります。



## 持ちかた

ハンドルを最も立てた位置にすると、お子さまをベビースーツに乗せたまま移動することができます。

### ●ハンドルを握って持つ場合。



### ●ハンドルをひじにかけ、もう一方の手で本体をつかむ場合。



ハンドルがひじからすべり落ちる可能性がありますので、必ずもう一方の手で本体をつかんでください。

ベビーカーとして使う

# ロッキングチェアとして使う

## ⚠ 警告

次のような使いかたは、ベビーシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

- ロッキングチェアとして使用できる目安は、首がすわってから10カ月頃までのお子さまです。首がすわるまでロッキングは使わないでください。
- ロッキングせずにチェアとして使用できる目安は、新生児～12カ月頃までのお子さまです。上記月齢にあてはまらないお子さまはチェアとして使用できません。
- お子さまの足が床に着く場合は、ご使用をおやめください。
- 必ず、**保護者の目の届く場所**で使用してください。
- お子さまを座らせるときは、必ず肩ベルトを装着し、肩ベルトの**差込タングとバックルを固定**し、ベルトにたるみがないよう調節してください。
- 車内では、ロッキングチェアとしての使用はおやめください。
- テーブルやイスの上など落ちる危険性がある場所や階段・段差・傾斜のある所、またタイルなどすべりやすい場所での使用はおやめください。転倒してケガの原因となります。



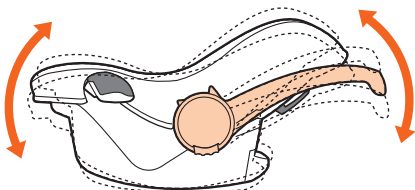
- ストープの近くや、落下物の心配のある場所での使用はおやめください。
- **2人以上のお子さまを乗せない**でください。
- お子さまの乗せ降ろしは、必ず保護者が行ってください。
- お子さまが身を乗り出さないよう、注意してください。

お子さまの座らせかた、肩ベルト通し穴の選びかた、肩ベルトの長さの調節のしかたは、13～15ページを参照してください。

## ロッキングの使いかた

ハンドルをロッキングチェアポジションにして、手で軽く押してください。

ベビーシートがゆっくりロッキングします。



＜ロッキングポジション＞

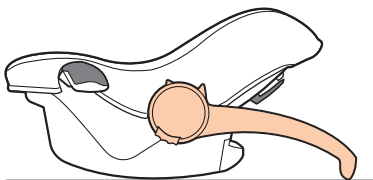


警告

- お子さまの様子を見ながら押してください。
- 長時間のご使用はおやめください。

## チェアの使いかた

ハンドルを固定ポジションにするとロッキングしません。チェアとしてお使いいただけます。

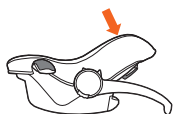


＜ロッキング固定ポジション＞



警告

チェア状態で矢印の方向に強い力をかけると、ハンドルが破損するおそれがあります。強い力をかけハンドル位置が変わった場合、外観上の破損がなくても使用をおやめください。



ロッキングチェアとして使う

# ベビーカーとして使う

## ⚠ 警告

- ベビーカーの背もたれを必ず1番倒した状態にして、ベビーシートを取り付けてください。取り付けたときにロックが不完全になるおそれがあります。
- アタッチメントは確実にロックされていることを強く引っぱり確認してください。アタッチメントがはずれたり、ベビーシートがはずれてお子さまが落ちるおそれがあります。
- ベビーシートはベビーカーの進行方向に対して、必ず後ろ向きに取り付けてください。方向が逆ですと固定されずお子さまが落ちるおそれがあります。
- ベビーシートを取り付けるときは、ベビーシートのハンドルを倒した状態では行わないでください。バランスを崩して落ちるおそれがあります。
- ベビーシートを取り付けるときは、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- ベビーシートを取り付けるときは、お子さまが手を外に出していないことを確認してから行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- 取り付け後、ベビーシートを軽く持ち上げて、確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。
- お子さまを乗せたまま、ベビーカーを持ち上げないでください。お子さまが落ちるおそれがあります。
- お子さまは思わぬ動作をしますので、ベビーシートとベビーカーの間に指をはさむおそれがあります。常にお子さまの状態を確認してください。
- ベビーシートの背もたれに強い荷重をかけないでください。ベビーシートがはずれ、お子さまが落ちるおそれがあります。
- ベビーシートを取り付けるときには、必ずベビーカー本体のシートベルトのバックルをとめてください。間にシートベルトがはさまり、取り付けが不完全になるなど、お子さまが落ちるおそれがあります。
- アタッチメントに破損などの異常がないことを確認してください。取り付けたときにアタッチメントがはずれて、ベビーシートが落ちるおそれがあります。
- アタッチメントを使用しないときは、お子さまの手の届かないところに保管してください。ケガをするおそれがあります。
- ベビーカーにベビーシートを取り付けた状態で、ベビーシートのハンドルを持ってベビーカーを持ち上げないでください。
- ベビーカーにベビーシートを取り付けた状態で、ベビーシートのハンドルを持ってベビーカーを移動させないでください。

必ずご使用のベビーカーの取扱説明書もあわせてお読みの上、正しくお使いください。

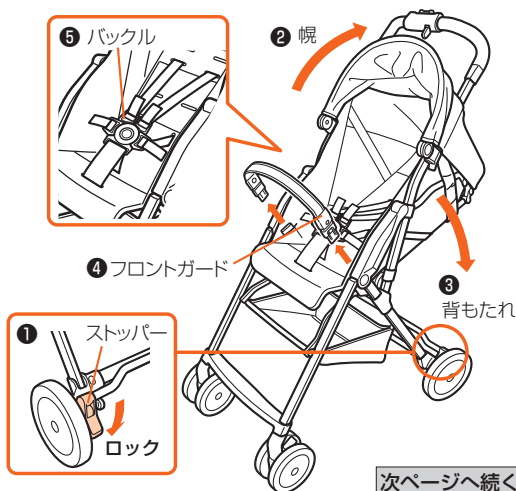
## ⚠ 注意

- アタッチメントを取りはずすときは、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- アタッチメントの取り付けや取りはずしのときに、指や爪をケガしないよう注意してください。
- アタッチメントが取りはずしにくいときは、マイナスドライバーなどの工具を使用してください。その場合は、必ず工具の先端に布などを巻いてケガをしないよう注意してください。工具の先端が鋭利な場合、アタッチメントやベビーカーが傷つき、その傷によりケガをするおそれがあります。

## ベビーカーへの取り付けかた

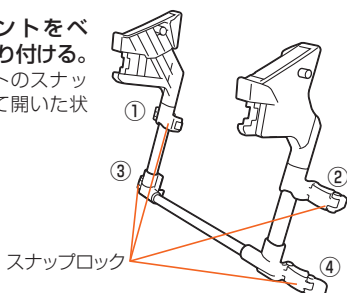
- 1** ベビーカーを開き、下記の状態を確認してください。  
操作について、詳しくはご使用のベビーカーの取扱説明書をご確認ください。

- ① ストッパーをロックする。
- ② 幌が開いているときは、幌を後部にまとめる。
- ③ 背もたれが起きているときは、1 番倒した状態にする。
- ④ フロントガードを車体から取りはずす。
- ⑤ シートベルト（股ベルト・腰ベルト・肩ベルト）のバックルをとめる。



# ベビーカーとして使う

- 2** アタッチメントをベビーカーに取り付ける。  
アタッチメントのスナップロックは全て開いた状態にする。

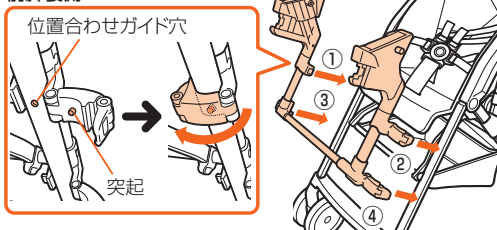


①ベビーカー正面から見て左の前脚上部にアタッチメントのスナップロック①を、右にスナップロック②を取り付ける。

ベビーカーの前脚裏側の位置合わせガイド穴にスナップロック内側の突起がはまるように取り付けます。

(下図参照)

前脚裏側



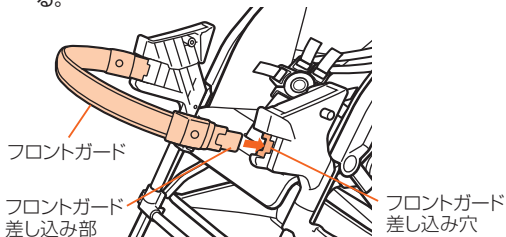
②スナップロック③④をしめる。

取り付け後、アタッチメントが確実にロックされていることを強く引っ張り確認してください。

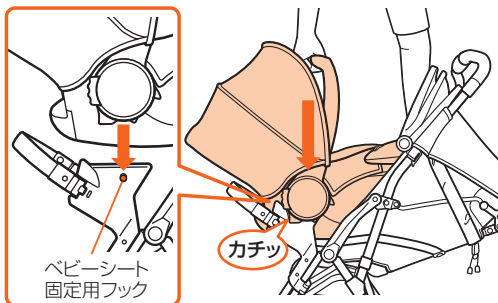
- 3** ベビーカー車体から取りはずしたフロントガードを、アタッチメントに取り付ける。

①アタッチメントのフロントガード差し込み穴にフロントガード差し込み部を『カチッ』と音がするまで差し込む。

②フロントガードを引っばって、はずれないことを確認する。



- 4** ベビーシートのハンドルと前端を持ち、ベビーカーの進行方向に対して後向きにし、ベビーカー本体の真上から、アタッチメントの左右にあるベビーシート固定用フックへ『カチッ』と音がするまで確実に押し込む。



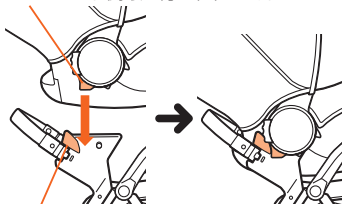
- 5** ベビーシートを軽く持ち上げ、左右のベビーシート固定用フックが確実にロックされていることを確認する。

ワンポイント



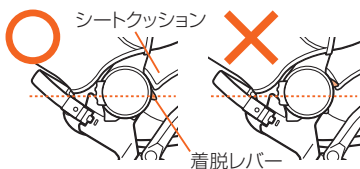
- アタッチメントの左右にある取り付け位置ガイドと、ベビーシートのハンドル根元の下に取り付け位置ガイドをあわせて、取り付けてください。

ベビーシート側取り付け位置ガイド



アタッチメント側取り付け位置ガイド

- 取り付け後、着脱レバーの先端が、左右ともベビーシートのシートクッションの端より下にきていることを確認してください。



ベビーカーとして使う

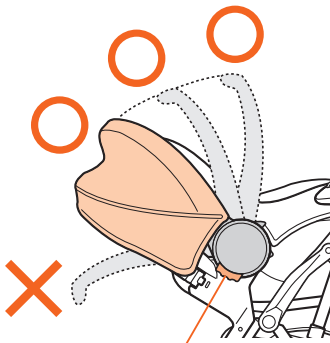
# ベビーカーとして使う

## ハンドルと幌の使いかた



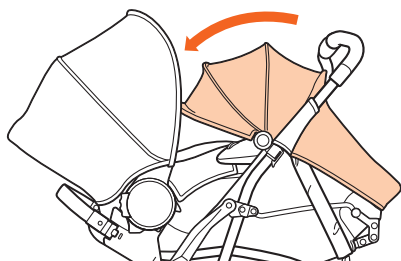
ベビーシートのハンドルに過度の力を加えないでください。ハンドルが破損し、本来の機能を果たさず危険をまねくおそれがあります。

ベビーシートの幌は、図の位置3段階で使用できます。



左右のハンドルボタンを同時に押しながら回転させます。

日差しの向きによっては、ベビーカー本体の幌も広げてください。



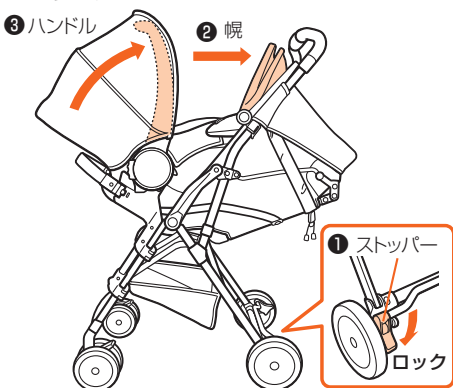


## ベビーシートのはずしかた

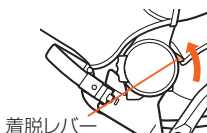


ロックを解除する前にハンドルを立ててください。ロック解除後にハンドルを立てる操作を行うと、バランスをくずしてベビーシートが落ちるおそれがあります。

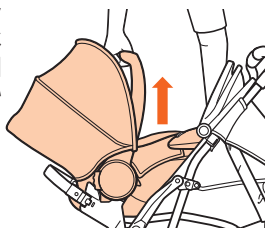
- 1 ① ベビーカーのストッパーをロックする。
- ② ベビーカーの幌が開いているときは、幌を後部にまとめる。
- ③ ベビーシートのハンドルをもっとも立てた状態にする。



- 2 左右の着脱レバーをとまるまで引き上げ、ロックを解除する。



- 3 ベビーシートのハンドルと前端を持ち、ベビーシートを真上に引き上げてベビーカーからはずす。



ベビーカーとして使う

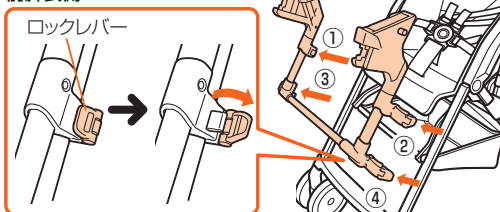
# ベビーカーとして使う

## アタッチメントのはずしかた

ベビーカーへの取り付けかたの手順2を逆に行ってください。(37ページ参照)

- 1 ベビーカーのストッパーをロックする。
- 2 アタッチメントのスナップロックの下側から順に取りはずす。(④→③→②→①)  
スナップロックの先端のロックレバーを外側に押して、ロックを解除してください。

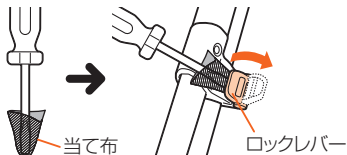
前脚表側



アタッチメントが取りはずしにくいときは、マイナスドライバーなどの工具を使用してください。その場合は、必ず工具の先端に布などを巻いてケガをしないよう注意してください。工具の先端が鋭利な場合、アタッチメントやベビーカーが傷つき、その傷によりケガをするおそれがあります。



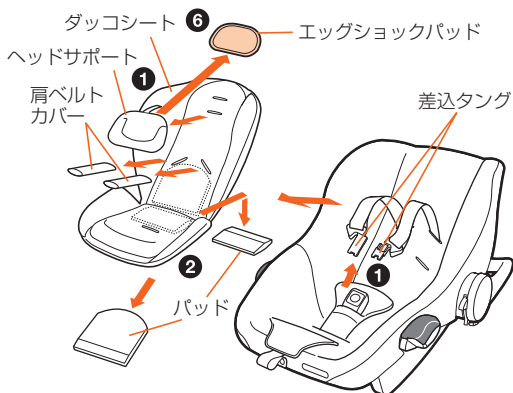
注意



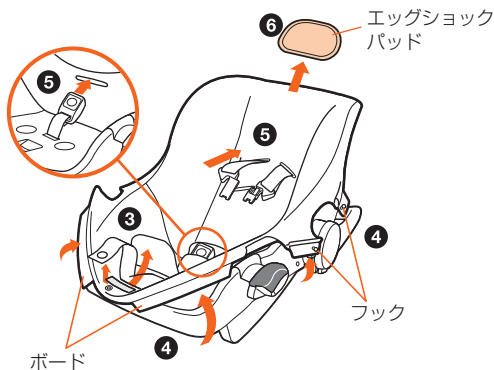
# お手入れのしかた

## シートクッションのはずしかた

- ① バックルボタンを押して差込タングをはずし、肩ベルトカバー、ダッコシートを引き抜きます。
- ② ダッコシートからパッド(2個)を取りはずします。
- ③ 調節ベルトのカバーをはずし、調節ベルトをホックからはずします。



- ④ 側面のフック(4カ所)と先端のボードをはずします。
- ⑤ 本体からシートクッションをはずし、肩ベルトとバックルを引き抜きます。
- ⑥ ヘッドサポートもしくはシートクッションから、エッグショックパッドを取りはずします。



お手入れ

次ページへ続く

# お手入れのしかた

## シートクッションの取り付けかた

- ① ダッコシートもしくはシートクッションにエッグショックパッドを取り付けます。
- ② 先端のボード(2カ所)を引っかけます。
- ③ シートクッションを本体の上にかけ、側面のフック(4カ所)にひっかけます。
- ④ ダッコシートを使用するときは、肩ベルトにダッコシートをかぶせます。
- ⑤ 肩ベルトに肩ベルトカバーをかぶせます。
- ⑥ 左右の差込タングを組み合わせてバックルに差し込み、調節ボタンを押しながら調節ベルトを引いて、左右の肩ベルトが調節できることを確認します。

## シートクッション、肩ベルトカバー、ダッコシート、幌の洗いかた

洗濯時は次のことを守ってください。

※エッグショックパッドは洗濯できません。

- 水、またはぬるま湯で手洗いしてください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- アイロン掛けはしないでください。
- ドライクリーニングはしないでください。
- 手絞りの場合は弱く、洗濯機脱水の場合は短時間で行ってください。強くしぼると、シワが残ることがあります。
- 十分にすすぎ、形を整えて陰干してください。

※ダッコシートを洗濯するときは、背面と座面に入っているパッドを抜いてください。また、エッグショックパッドも取りはずしてください。

※洗濯の際は(蛍光剤、漂白剤、酵素などを含まない)中性洗剤をおすすめします。

※洗濯後、脱水機、乾燥機は使用しないでください。

## 本体、肩ベルトのお手入れ方法

通常はかたくしぼった布で水拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落とししてから水拭きし、日陰で乾燥させてください。



中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および肩ベルトをいためるおそれがあり危険です。

## 製品を正しく安全にお使いいただくために

製品を正しく安全にお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。下記のホームページをご覧ください。

<http://www.combi.co.jp/safetyinfo/index.html>

## 保管のしかた

### ●取扱説明書

ご使用の前に必ず本書をよく読み、十分ご理解の上、シートクッション後側のポケットに保管してください。

### ●ベビーシート本体

長期間使用しないときは、車から降ろし、直射日光が当たらず風通しの良い、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

### ●アタッチメント

長期間使用しないときは、直射日光が当たらない、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

## 廃棄のしかた

- お住まいの各自治体の規定に従い処分、廃棄してください。
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたベビーシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないように縫製品などをはずして、廃棄してください。

## 領収書 (レシート) 貼り付け欄

### 品質保証書

#### コンビ F2用トラベルシステムキット

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマープラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

|                                 |                           |
|---------------------------------|---------------------------|
| 保証期間<br>お買い上げ日より1年間(ただし保証規定による) |                           |
| 製品名                             | ロットNo.<br>(本体前方裏側のシールに記載) |
| お買い上げ日<br>年 月 日                 |                           |
| お客様                             | お名前                       |
|                                 | ご住所 〒<br>TEL              |
|                                 | TEL                       |
| 販売店                             | 店 名                       |
|                                 | 住 所                       |
|                                 | TEL                       |

#### 保証規定

- 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
- 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマープラザにお送りください。
- 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
  - (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
  - (b) シートカバーなど、縫製部品の傷やぶれ。
  - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
  - (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
  - (e) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - (f) 本書のご提示がない場合。
  - (g) 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
  - (h) 有料修理の場合に必要な運賃などの諸経費。
4. 衝突事故など、1度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
6. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

#### 修理メモ

- お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
- 万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- このページ上部のレシート貼り付け欄に領収書(レシート)をお貼りください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマープラザ、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 品質保証書にご記入いただいた個人情報、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

**Combi**

コンビ  
F2用トラベル  
システムキット

## コンビ株式会社

製品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマー  
プラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ(Customer Service Center)

受付時間：9:30～17:00(日祝日、年末年始を除く)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271

■総合受付(各種ご相談)窓口 製品に関するお問い合わせ/  
修理のご依頼/各種ご相談/その他

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

■部品相談受付窓口 部品に関するお問い合わせ/ご注文

TEL. (048) 797-1001 FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ(Customer Service Center)／西日本担当

受付時間：10:00～17:00(土日祝日、年末年始を除く)

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16

TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

\* コンシューマープラザホームページ [www.combi.co.jp/soudan](http://www.combi.co.jp/soudan)

■ ホームページ

■ オンラインショップ

■ 妊娠・出産&製品口コミ情報サイト

[www.combi.co.jp](http://www.combi.co.jp)

[shop.combi.co.jp](http://shop.combi.co.jp)

[www.combibaby.com](http://www.combibaby.com)